

令和4年度 取組と達成目標 -図書館(若狭図書学習センターを含む。)-

項目	現場	挑戦	協働	創意工夫	効率化
1 情報の提供	○適切な資料の収集 ○オンラインデータベースの提供 ○情報リテラシー向上の支援	○郷土資料のデジタル化 ○改正著作権法(図書館資料メール送信サービス)の対応	○他図書館への資料提供 ○次期図書館情報システム(R6.4~)導入の準備	○時代のニーズに適合した、県立図書館に相応しい蔵書構成を実現 ○本の特集、展示の魅力アップ ○レファレンスサービスの発信	○レファレンスツールの作成 ○効率的な資料保存環境の整備
	●受入資料数 22,000点 ●オンラインデータベース提供 6種 ●資料・情報の調べ方講座の開催	●計画に基づく郷土資料デジタル化の実施(福井新聞記事見出し 2009年度分約 1.4万件等) ●図書館資料メール送信サービスの検討、準備	●県内市町図書館への相互貸借冊数 10,000冊 ●県文書館、ふるさと文学館、県内市町立図書館との調整	●長期ビジョン、教育振興計画等を踏まえ、「資料収集方針」を更新 ●Display Boxes を活用した本の特集の実施 4回 ●レファレンスサービスの広報	●テーマ別調べ方案内の更新、整理 ●集密書庫の収蔵計画に基づく準備、予算要求
2 他機関との連携	○市町図書館との意見交換 ○他図書館等とのレファレンス協力 ○他図書館との資料物流体制の維持	○県下で残すべき資料の県立図書館での受入計画の作成	○インターネット予約による市町図書館での資料受取 ○市町図書館との共同企画の開催 ○館内カフェとの連携	○ビジネス支援(事業創継)、医療健康など他機関と連携した共同企画の開催 ○全国公共図書館研究集会の開催	○県内図書館司書のスキルアップ
	●市町図書館への訪問 35館 ●レファレンス協同データベース登録件数 50件 ●他図書館との資料物流体制の維持	●県文書館、ふるさと文学館との3館での定例会議の開催 ●市町立図書館との意見交換、調整	●インターネット予約他館受取予約冊数 6,000冊 ●市町図書館との共同企画 1回 ●企画コラボメニューの提案	●他機関と連携した本の特集 35回 ●他機関と連携したイベント 15回 ●全国研究集会におけるタイムリーなテーマ設定、効果的な施設紹介	●職員研修の開催 10回 ●オンラインを活用した研修の実施
3 生涯学習活動の支援	○「白川文字学」を学ぶ機会の提供 ○図書館施設の新型コロナウイルス感染予防対策	○子どもの読書活動の推進 ○新しい生活様式に配慮した子どもの読書活動の推進	○文書館、ふるさと文学館と連携した魅力ある企画の実施 ○ボランティア活動の受入 ○本館移転開館 20周年記念企画	○ホームページ、SNSにより図書館サービスやイベント等の情報発信を強化 ○施設(庭園等)の有効活用 ○本館入館者 1000万人達成	○イベント参加申込の効率化 ○会議・打合せの効率化
	●白川文字学に関する展示・イベント 6回 ●白川文字学の室寄贈資料の整理、展示更新 ●手指消毒、マスク着用、ソーシャルディスタンス確保等	●ジュニア司書(小学生、中学生の部)の養成 20名 ●県立学校での郷土資料調べ方講座の開催 2回) ●推奨図書コーナーの充実 ●電子書籍導入の検討 ●高校生を対象にしたオンラインによる読書企画の実施	●3館連携企画 3回 ●図書館ボランティア活動延べ回数 1,500回 ●本館移転開館 20周年連携企画の実施	●ホームページ閲覧数 24,000回/月 ●SNSやメディアによる効果的な広報 ●庭園を活用した読書イベントの実施 ●施設紹介動画作成 ●本館入館者 1000万人記念イベントの企画、実施	●自動送信機能を利用した申込受付の実施 ●Web会議、ペーパーレスヒアリング等の実施

※上段は取組項目、下段は目標 ※ゴシック体は令和4年度の新規項目

※本案は令和4年4月当初のものであり、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、ここに示された業務・行事等がやむを得ず延期や中止になることがあります。